

花開く 志染剣道

第44回中兵庫少年剣道大会

地元開催に花添える



宣誓する栗田選手(志染)

団体中学生優勝、小学生準優勝の快挙

三木市剣道連盟が会場地番として世話にあたった、「第44回中兵庫少年剣道大会」は、平成28年5月29日(日)、吉川総合公園体育館パトラルホールで行われた。

参加選手、女子個人小学生62名、中学生35名、参加チーム小学生32チーム(175名)、中学生29チーム(97名)計369名、大会役員、審判員、監督等加えると約600人の盛大な大会であった。

当日は曇り空で雨が心配されたが、幸い降らず、暑すぎない試合条件だった。朝、8時前から早くも国道175号沿線沿いの各地から選手団が会場に集まり、大会気分を高めた。

8時半受付開始。審判会議の後、9時きっかりに開会式。神澤正輝大会会長(三木市剣道連盟会長)の挨拶で始まり、松本明紀市教育長ら来賓の挨拶を受け、選手代表、地元「志染スポーツ少年団剣道部」主将、栗田胡春選手が力強く選手宣誓を行った。



体格を利用して優勝した北条三田井麻梨愛選手(左)

小学生低学年の部では、三木勢は振るわなかったが、自由が丘の小林奈央(写真・4年)が唯一3位に入賞した。優勝は準決勝で小林を倒した小野柳心館の田代華夢(4年)がさらに、決勝で田代に敗れた加西市北条少年剣道部の三田井麻梨愛(4年)が準優勝。また、己勝館からただ1人出場した3年生湯浅光璃も活躍し、堂々の



女子個人戦低学年の部で3位に入賞した小林奈央選手(自由が丘・4年)

部「主将、栗田胡春選手が力強く選手宣誓を行った。試合は、6試合場で一斉に行われ、最初は女子選手による個人戦が、小学生低学年の部、同高学年



小学生団体、決勝戦で三田尚勇館と対戦する志染SSDチームの選手(右から河野、寺口、中西、照井、金井)

3位に入賞した。小学生高学年の部には、志染勢の精鋭が出場している。果たしてベスト4には2名残った。しかし、小学生はなれの体格に恵まれた北条の三田井麻梨愛に苦戦。まず栗田胡春が接戦の末敗れ、次いで優勝戦で中西涼風が散った。栗田も中西もあと一工夫で勝てた試合だった。しかし、志染4名中、2名が入賞は立派、レベルの高さがうかがえた。

中学生女子個人戦では三木勢も3教室から3名が出場した。志染の加村仁奈など実力があり期待されたが、中学の剣道部で日々稽古に励む選手には歯が立たなかった。

優勝は、己勝館1年生の和泉陽眺詩、準優勝に春日台3年村元ひより、3位に氷上練成会3年田邊吏麻、加西市剣道スポーツ少年団